

編集と 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
発行 総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254番)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 140番)

町の人 昭和42年10月1日 現在推計人口
男 5,873人 計 12,517人
女 6,644人
前月より 10人増

たばこは町内の
店で
買いましょう。

大報 おおわじわ

目標を軽く突破か

葉たばこ前期の収納終る

二百万円上回る農家も

本町の農産物中、換金作物の王座をしめる「葉たばこ」の収納納は九月二十日から始まり十月六日まで前期の収納が終りました。ことしはビニールの二重被覆を実施したことや好天気に恵まれたことなどから史上最高の豊作で耕作農家はもちろん関係者からよるこばれています。

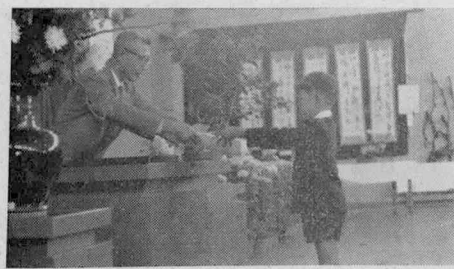
前期で収納された葉たばこは、耕作者二〇一人、面積、七六・二七ヘクタール分、総量は二〇万二千五百七十五キログラムとなっております。総収納代金は、一億二千七百七十四万三千円、一〇アール当り平均一六万八千二百三十一キログラム一六三三円にもなります。

また、収納代金のこれまでの最高は、安水部落の安水畠熊さんで、一・五ヘクタールを耕作し、二百一十三万六千円をあげられました。一〇アール当りの代金では山ノ口部落の堀ノ内九二郎さんの、二五万二千一六五円が最高、一キログラムの最高は、同じ山ノ口部落の新田実さんの、七三六円、などとなっています。

後期の収納は、十二月五日から二十日まで行なわれますが、前期分を上回る好成績が予想され、当初目標の二億四千万円は軽く突破されるものと大きく期待されています。



(収納成績がよかったので収穫時の苦勞も忘れませんでした)



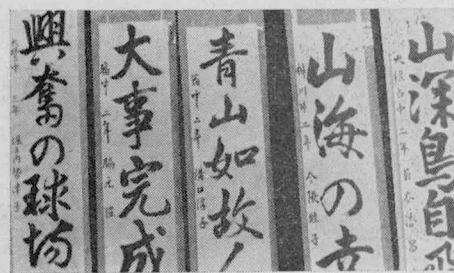
(受賞式上と、下、お友だちの作品)

ことしの文化祭は、町内小中学校の児童、生徒の作品展が行なわれ、十一月三日「文化の日」に、その授賞式がありました。

作品は、図画、習字、作文理科等合せて、五九五点が出品され、県教育庁をはじめ、町内、外のそれぞれの専門の先生方が審査されましたが、成績はこれまでにくらべて一段と向上し、関係者からよるこばれています。

各部特選入選者は次のとおり(入選、佳作は、紙面の都合で省略します)

△図画(彫塑を含む)
町長賞、宿小4 厚ヶ瀬 智
大小1 段 博文
大小5 浜田 光郎
大小6 南 晴美
町長賞、宿中2 諏訪原 研
宿中2 牧原あつ子
宿中3 木場 秀吉
大小2 議長賞
大小2 ながはませつこ
宿小4 厚ヶ瀬 真由美
池小3 南 幸一
神小3 上鶴まゆみ
神中1 赤石 利行



△習字
町長賞、宿小1 坂口まきみ
大小3 斜木 久生
大小4 斜木 克生
宿小6 宿利原 敏子
大小6 中村すみ子
宿中2 勝元 隆
宿中3 前園理恵子
宿中1 木原 洋子
池小6 段 良子
大小1 隈元まさよ
宿小4 前園加奈子
宿小5 厚ヶ瀬 良子
池小2 毛下 京子
宿中2 溝口 淳子

△作文
町長賞、宿小3 斜木 久生
宿小4 米満 礼子
大小3 岩田より子
宿中1 今限 睦子
宿中2 今限 睦子
宿中3 桑原かすみ
大小2 わによしこ
大小2 諏訪原成美
神中2 前田くみ子
神中3 小川 一枝
神中1 上園 良成
神中2 福永 利治
神中1 教委賞、大小1 やまがみひろあき

入賞おめでとう

ことしの町の文化祭

△理科
町長賞、大小4 鮫島 善信
池小6 福元 照子
大小3 四本真理子
宿小4 溝口 彰子
宿中3 岩田あつ子
宿中2 小川 節子
宿小1 小川ふき子
大小3 上鶴真由美
池小2 桑原信三郎
大小6 白井美穂子
大中1 吉井久美代
大中1 脇 洋文
池小3 馬場佐美男
池小3 大久保美子
宿小6 木下みよ子
宿小4 牧原 洋子
池小4 山口 玲子
池小2 大久保末子
神小2 いまぐまむつみ
大小3 村岡 瑞恵
神中2 岡元 年己
神中1 田中 敏治

教委賞、大小4 平野 義子
大小5 川前 通朗
池小3 白井 次徳
池小1 毛下 久江
大小4 鮫島 善信
池小6 福元 照子
大小3 四本真理子
宿小4 溝口 彰子
宿中3 岩田あつ子
宿中2 小川 節子
宿小1 小川ふき子
大小3 上鶴真由美
池小2 桑原信三郎
大小6 白井美穂子
大中1 吉井久美代
大中1 脇 洋文
池小3 馬場佐美男
池小3 大久保美子
宿小6 木下みよ子
宿小4 牧原 洋子
池小4 山口 玲子
池小2 大久保末子
神小2 いまぐまむつみ
大小3 村岡 瑞恵
神中2 岡元 年己
神中1 田中 敏治

善意の話題

皆倉下部落の箱丸シメ子さんは、お母さん(オトさん)の忌明けに当り二千元を、麓部落の東岩男さんは、お母さん(タケさん)の忌明けに当り三千元を、それぞれ社会福祉のため役立ててほしい、と町の社会福祉協議会に寄附くださいました。

社協では、御厚志をありがたうお受けし、社会福祉のため役立てる所存です。ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

老人ホームにも次のかたがたから、たくさんのお慰問の金品をいただきました。(順不同、敬称略)
原政吉、山南アキエ、北哲夫、神川老人クラブ、九州食肉組合連合会
入園中のお年寄りにかわって厚くお礼申し上げます。

ごあいさつ

町長 坂元左武郎

一時千害が心配されたり、数回にわたって台風の接近におびやかされましたが、幸いたった被害や影響もなくめでたく稔りの秋を迎えることができて喜しく存じます。

「健全な精神は、健全な身体に宿る」と云われております。

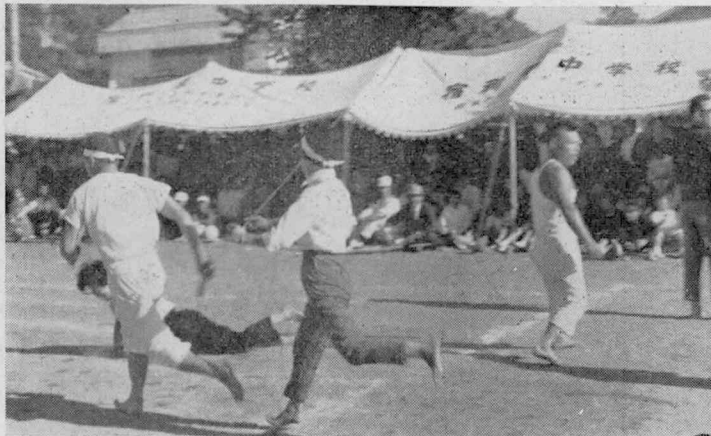
私は、常に町民各位が健康で、各自の職務に精励されんことを願ひ、スポーツを通じて町民の健康を増進し、融和をはかるため、ことしも「町民体育大会」を開催いたしました。

昭和四十七年には、本県で国民体育大会が開かれることになっております。本町からも、この国体に選手として参加できるような優秀な青少年が育ち、町勢発展に寄与していただくよう望むものであります。

開催に当り、いろいろな面でご協力くださった学校の先生方をはじめ、関係者の皆さんに心から感謝申し上げます。



アーチをくぐって、ぞくぞく入場



お母さんは、ころんでも泣きません(部活リレー)



賞品をどっさりもらって、よかったね



楽しいおひる、ごちそうがいっぱい



対抗綱引きで宿利原校区が優勝、みんなで万才



応援もバズミました



左 おばあさん
フツカよなをついやんせ(老人のたからつり)



それ引け、やれ引け校区対抗綱引き

届け出は 本人か世帯主で 転入等の事務が一部変わります

住民基本台帳法の施行で

これまで町民の皆さんが役場においていろいろな場合、一つの届け出をされる場合、一つの事務でもいろいろな法令規則で、書式がいくつとありにも定められ、簡単に手続きが済まない場合もありました。こうしたことで役場はまことに面倒くさいことをさせる、との苦情もありました。このようなことから自分に直接関係のあるものだけ手続きし、煩わしいのはそのまま、ということもありました。そこで皆さん

農業資金の結集に 御協力ください

農協長 坂口 不二郎

いまようやく町政と農協の行なう施策とが一本化され、農協自体も順調な歩みを続けつつあります。しかし、農業の将来には、いろいろな困難な問題が山積しております。他企業との所得



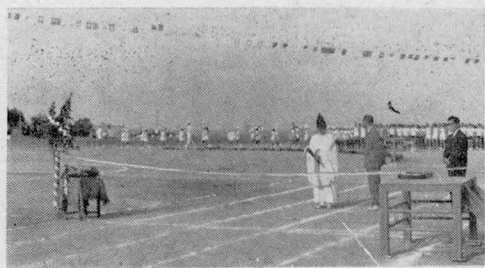
町民の皆さんは、農業協会の金にききましても、いづれも協力賜り心から感謝申しあげます。昨年農協合併が実現し、いまようやく町政と農協の行なう施策とが一本化され、農協自体も順調な歩みを続けつつあります。しかし、農業の将来には、いろいろな困難な問題が山積しております。他企業との所得

(一) 届け出人は本人、本人が届け出ることができない場合世帯主が代わって届け出人になります。
(二) 転入、転出の場合は必ず転入証明書を添付しなければなりません。この転出証明書に年金、保険、配給、選挙等の必要事項を記録して発行することになります。
(三) 届け出をする場合、届け出人は必ず印鑑を必要とします。
(四) 届け出の審査
今までの形式的審査より届け出による内容が事実であるかどうかを審査することになりましたので(三)に記載した事項についてお守りいただきたいことをお願いいたします。
(五) 住民基本台帳に登録され自己負担金があるわけです。この日、農協への資金結集が強く叫ばれるのはここにありま。

ていないと国保、年金の資格がなかったり、選挙権の行使が出来なかったり、学令簿等就学児童の通知がないこと等もありますので転入転出の場合十四日以内に届け出なければなりません。
以上のことは各種の行政が住民基本台帳の記録に基づいて行うこととされたからでできあがった運動場
校区民あけての
祝賀会
池田中学校の運動場は、きよ年七月の集中豪雨で大きな被害を受けてほとんど使えなくなっていました。
町では、総工費五百九十万円(うち国庫補助三百四十二万九千円)をかけて復旧工事をおこない、十月十二日そのしゅん工式がありました。
当日は、池田小、中学校の児童、生徒をはじめ、両校PTAなど、多数の関係者が出席して開かれ、神事のあと池田小学校児童百四十人からなる鼓笛隊が運動場の完成を祝

◎役場人事

これまで民有林の経営や技術指導は、県林業改良普及員によるほか、町の森林組合の技術員がこれに当たっていました。が、ご承知のように森林組合に技術員がいなくなった関係から、町に技術員を採用すべく検討されていましたが、十一月一日付けで次の通り発令されました。
経済課農林係 松崎政治
(林業技術員、新採)



(運動場開きの神事)

森林組合から お知らせ

大根占町森林組合では、前常務理事山辺盛康氏の辞任にともない、その後任に、塩屋部落の瀬戸藤吉氏を選任しました。

この結果、現在の森林組合の事務機構は次のようになります。

組合長理事 坂元左武郎
常務理事 瀬戸 藤吉
事務主任 吉元 徳義
会計係 大吉 すみ
臨時職員 長浜とし子
なお、森林組合では、昭和四十二年度造林申請を受け付けていますので、希望者は早目に造林予定地の字地番、面積を調査し、所要苗木本数一本に二円の保証金に、印かんをそえて、事務所に申し出ら

るよう望んでいます。
参考
苗木の植え付け基準本数
(一〇アール当り)
杉、三〇〇本、一・八平方メートル
松、五〇〇本、一・四平方メートル
〇、四〇〇本、一・六平方メートル
松、〇混植
四〇〇本、一・六平方メートル
県では十二月一日現在で出かせ実態調査を行ないます。この調査の目的は、農家の出かせぎについて、その実態を調査しあわせて留守家族の実態を調査します。

調査票には出かせぎ世帯の氏名は書かないことになっており、お答えいただいたことがらはすべて統計を作るだけに使用され、他人にもれたり、税金その他出かせぎ世帯に不利になるようなことに使用されたりすることは絶対ありません。ご協力ください。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

三年後には1千万円に (好成绩あげた養蚕経営)

戦後本町では、繭の価格が、政府の保証によって安定していること、昔の養蚕に比べて、技術的に改善され、そうたいした手間を要しないこと、現金化が早いことなどから、煙草作の少ない宿利原、神川校区の一部にこれを奨励していった。

養蚕は戦前本町でも非常に盛んでしたが、戦時中の食糧不足から、桑園のすべに甘し等の食糧作物が栽培されたため、以来現在まで、本町では養蚕はなされていませんでした。

町や農協では、最近の繭の価格が、政府の保証によって安定していること、昔の養蚕に比べて、技術的に改善され、そうたいした手間を要しないこと、現金化が早いことなどから、煙草作の少ない宿利原、神川校区の一部にこれを奨励していった。

初年度は、全体で約六・二ヘクタールの桑園が造成され、三六戸の農家で飼育していた。

初めてで、いずれも経験のないことから、その成果が目ざされていましたが、初年度としてはなかなか上等の成績をあげて関係者からよろこばれています。

総産繭量は、八五五・七Kで、総代金約九〇万円となっています。

先進地に研修して

神川上 小園 又 男

農村の中堅青年を、県外のすぐれた農家に派遣して、その家族と農業や生活を共にしながら、進んだ農業技術、経営ならびに生活を習得させ、将来、自家の経営や新しい村づくりの中核者として貢献させよう、という趣旨で、かんきつ、和牛など、六つの部門に分かれた「農村青年先進地農家留学研修」が、県で実施されました。

本町からは、かんきつ部門に神川上部落の小園又男君と小園増広君の二人が静岡県に、和牛部門に神川城部落の、今隈俊郎君が鳥取県で、それぞれ二ヶ月間の研修を絡えこのほど帰町しました。

以下その報告書の中から要点を抜記してご紹介いたします。

紙面の都合で、今月は小園又男君(写真)の分を掲載し、以下号を追って順次お知らせすることにいたします。

去る九月一日から十月三十日までの二ヶ月間、静岡県の果樹農家について研修しました。

私を受け入れていただいた



ことは、なにしろ初年度ではあり、しかも夏期の干ばつがひどかったため、桑の生育が充分でなかった等の悪条件にもかかわらず、このような成績を残しており、今後大きく期待されています。

農協の生見技は、

二ヶ月の間、日常の農作業はもちろん、生活を共にしながらの研修で、いろいろ貴重な体験をさせていただきましたが、詳細についての報告は次の機会に譲らせていただきます。



研修結果の概要を述べたいと思います。

今度の研修の最大の目的は、今後、農家として自立するための精神的な修養がおもな目的であり、また、静岡産地というものを実際に目でたしかめ、産地の実態をハダで感じとり、立地、気象、その他諸条件の違う本県ですが、現地での見聞にヒントを得て本町

農免道路 いよいよ着工 坂之上線を幅員 五・五米に

農道の整備事業は、土地基盤の整備とともに、農業生産性の向上にもっとも必要なことです。

町では、かねてから町の単独事業として、あるいは、国や県の援助を得て、これに当たってきました。しかし、多額の経費を要するこの事業を完全実施するには、限られた予算ではなかなかむずかしいことです。

農免道路(農業用揮発油税身替農道整備事業)事業は、農業用に使用される燃料油類の税金で農道の整備をやっている事業です。

町では、是非この事業を本

町にも適用してもらおう関係機関に強く要望していただきました。その結果、昭和四十二年度から、三ヶ年継続事業として、農道坂之上線の整備が行なわれることになりました。

坂之上線は、田代県道の通称石瀬戸から、池山を通り、町道厚ヶ瀬線を経て鳥浜の構造改善事業地区を通過して神川城部落附近から鳥浜に出る道路で、城元、鳥浜台地の主要幹線道路になっています。

こんどの整備事業では、総延長、五千八百三十六米を、中員五・五米の道路にするもので、総事業費は、八千二百万円の前定です。このうち、ことしは延長約二千米を、工事費二百四十万円、県工事として実施されます。すでに入札も終了、町内の桑原組が施工します。

引揚者給付金の お知らせ

終戦後、外地からの引揚者およびその遺族に対して、特別交付金を支給する法律が制定されました。

この交付金は、次のような人に支給されることになっています。

①終戦日等まで外地に引き続き一年以上生活していた引揚者

②引揚者の遺族

③引揚前に外地で死亡した者の遺族

④遺族の範囲

この特別交付金の支給を受ける人は、該当すると思われる人は、役場民生課にお問い合わせのうえ、早目に手続きをして下さい。

支給の方法

①請求は、昭和四十五年三月三十一日までです。

大体以上のようになっていますが、該当すると思われる人は、役場民生課にお問い合わせのうえ、早目に手続きをして下さい。

～ 11月26日～12月2日～

全国秋の火災予防週間

さあ ねよう! アッ そのまえに 火の点けん!